



SDGs 未来都市

和歌山市から持続可能な地域を創る

持続可能な和歌山市を創るため、連続シンポジウム（無料）を開催します。コロナ対策として、全3回の講演会（第一部）はオンライン開催、パネルディスカッション（第二部）もテレビ放送で実施します。

第一部 オンライン講演会（ZOOM）

未来を創造する「人材の育成」



田口 一成

Taguchi Kazunari

株式会社ボーダレス・
ジャパン
代表取締役社長

1980年生まれ。福岡県出身。早稲田大学2年時に栄養失調に苦しむ子どもの映像を見て「これぞ自分が人生をかける価値がある」と決意。在学中にワシントン大学へビジネス留学。株式会社ミスミにて入社後25歳で独立し、ボーダレス・ジャパンを創業。世界13カ国で35社のソーシャルビジネスを展開し、2019年度の売上は54億円。2018年10月には「社会起業家の数だけ社会課題が解決される」という考えのもと、社会起業家養成所ボーダレスアカデミーを開校し、1年半で250名以上が受講。ボーダレスグループの仕組みは、2019年グッドデザイン賞を受賞。2019年日経ビジネス「世界を動かす日本人50」、Forbes JAPAN「日本のインパクト・アントレプレナー35」に選出。2020年4月に地球温暖化問題を解決すべく、再生可能エネルギーを提供する新規事業「ハチドリ電力」を立ち上げ。



比屋根 隆

Hiyane Takashi

株式会社レキサス
代表取締役社長
株式会社うむさんラボ
コアメンバー

「人材育成を通して沖縄県経済の自立と発展を目指す」という大きな理念のもと、沖縄県内の人材育成にも様々な取組を行う。10年前から活動している IT frogs（現・Ryukyufrogs）は、沖縄の次世代リーダーを発掘し育成するために、沖縄や県外の理解ある企業の協賛支援のもと、沖縄の学生の早期育成を目的とし、起業家精神及びグローバル視点研修や各種技術研修への参加、海外視察などの機会を提供してきた。キャリアとしては、1998年株式会社レキサス設立。2018年秋には、「社会をより豊かにする」事業への「社会的インパクト投資」と、幅広いビジネススキルやネットワークを活用した経営支援、事業開発などを行う株式会社うむさんラボを設立。



齊尾 茉里

Saio Mari

m art space
アートディレクター

1981年生まれ。和歌山市出身。1児の母。2014年から「和歌山の子供も達が地域の未来に希望を持つ社会をつくる」を目標に、小・中学生を対象に、地域の大人が仕事、職業観などを伝えるキャリア教育イベント「未来スクール」の立ち上げメンバーとして企画・運営に携わる。イベント形式で4回開催し、学校から個別に出前授業の依頼も受けている。なぜ学ぶのかに疑問を持ち高校を中退した自身の経験から、様々な大人から意見を聞ける環境があれば視野が広がり、考えも違ったのかもかもしれないと考え、そういった環境をつくることができればという思いも持ち活動を継続。取組を行う中で、自身の生き方・働き方も感化され、2015年にデザイン・プロモーション等の事業を行うm art spaceを起業。和歌山がより魅力的になるよう希望あふれる未来をデザインしている。

第1回

9/14

月

19:00~

「食」が育む地域の未来



寺本 英仁

Teramoto Eiji

邑南町
商工振興課 課長

1971年島根県生まれ。94年東京農業大学卒。島根県石見町役場（現邑南町役場）入庁。邑南町が目指す「A級グルメ」の仕掛け人として、道の駅、イタリアンレストラン、食の学校、耕すシェフの研修制度等を手掛ける。小泉内閣時に発足した「地域産業おこしに燃える人」の第3期メンバーに選出。総務省地域力創造アドバイザー。NHKプロフェッショナル仕事の流儀でスーパー公務員として紹介される。現在、にっぽんA級（永久）グルメのまち連合アドバイザーに就任。2018年11月ブックマン社より「ビレッジライド」を出版。趣味はスクーバダイビング、水中写真。



飯尾 彰浩

Iio Akihiro

株式会社飯尾醸造
五代目当主

1975年宮津市生まれ。大学院修了後、大手企業に就職し、営業企画や営業教育に携わった後、実家である株式会社飯尾醸造に入社。2012年に五代目当主として事業を継承。酢造り、流通、新商品開発のみならず、丹後地域を「世界一の美食の町」にするプロジェクトを立ち上げ、観光客滞在のきっかけとなるディナー営業のみの飲食店開業に取り組む。2017年にはイタリアンレストラン「aceto（アチエト）」、今年6月には株式会社飯尾醸造で造った酢、同社で生産する米を用いた酢飯によりすしを提供する「すし長蔵」をオープン。



中井 一統

Nakai Kazunori

カネナカ水産株式会社
代表取締役

1973年和歌山市生まれ。和歌山県立和歌山工業高等学校を卒業後、家業である仲卸『カネナカ水産』を手伝う。1年後、エコール・キュリネール大阪あべの（現在のエコール 辻 大阪）へ進学し、フランス・イタリア料理を専攻。辻調グループフランス校へと進み、1994年に卒業後、フランスのレストランやパティスリーなどで約8年間の修業を経験。2007年にカネナカ水産株式会社の代表取締役となる。2018年にはタイで現地メンバーとの共同出資により同業の法人を設立。

第2回

10/6

火

19:00~

「海」の豊かさを未来につなぐ



木村 尚

Kimura Takashi

海洋環境専門家

1956年神奈川県生まれ。海洋環境専門家。東海大学海洋学部海洋資源学卒。東京湾の再生活動を続けながら、日本全国の海と海辺の再生に尽力。NPO法人海辺づくり研究会理事（事務局長）、東京湾の環境をよくするために行動する会幹事、MACS代表取締役、金沢八景-東京湾アマモ場再生会議、東京湾再生官民連携フォーラム委員など、多数の市民活動団体に参加協力。THE!鉄腕!ダッシュ!!にも出演中。



南部 博美

Nanbu Hiromi

花王株式会社
マテリアルサイエンス
研究所 副所長

1963年生まれ。和歌山市出身。88年岡山大学工学部大学院を修了後、花王株式会社に入社。入社後は、素材開発研究所にて、紙おむつに使用する高吸水性ポリマーの開発など、消費者の生活を豊かにするためのポリマー材料(プラスチック)の開発に従事。2011年には知的財産センターにて、米国特許を担当し米国ワシントンにて実務等を経験。2014年にマテリアルサイエンス研究所室長、2019年に同研究所副所長、2020年5月には新設されたリサイクル科学研究センター長に就任し、現在、プラスチックを始めとする材料開発と、そのプラスチックの資源循環を目指したリサイクル技術開発の両方を担当する。また、CLOMA (クリーン・オーシャン・マテリアルアライアンス) のコアメンバーとしても活動中。



木村 尚博

Kimurai Naohiro

しらす創り七代目 山利

七代目 木村利右衛門。1979年和歌山市生まれ。大学卒業後、2年間食品メーカーに勤務した後、24歳で実家のしらす屋 山利に入る。六代目の下、釜あげから入札、販売等すべての工程を学び、2012年から七代目として全事業を引き継ぎ、経営者として現在に至る。しらす創り山利は、和歌山で七代続くしらす屋。西脇漁港すぐの最高のロケーションで、代々受け継がれる素材の知識をもとに、より美味しく安全な商品を追求している。6月には、NEWoMAN 横浜に(株) THINK GREEN PRODUCEとともに『しらす食堂じゃこ屋 七代目山利』をオープン。海を愛するサーファーでもある。

第3回

10/26

月

19:00~

■ 各回のプログラム

※プログラムの内容は変更になる場合があります。

18:45~19:00 入室

19:00~19:10 イントロダクション

19:10~20:10 基調講演

20:10~21:00 フリートーク/質疑応答

■ 参加申込（無料）

申込必要（各回3営業日前まで締切）。

申込者には事務局からZoomウェビナー参加用URLを送付（9月以降を予定）。

右QRコードからお申し込みください。

※市HPからも申込可能。
ページ番号：1030850



第二部 パネルディスカッション

12月中旬に放送予定のSDGs推進特別番組

「SDGs 未来都市・和歌山市から持続可能な地域を創る」

(59分番組：テレビ和歌山) で、パネルディスカッションを実施

詳細については決定次第、市HPに記載予定。ページ番号：1030850

主催：和歌山市SDGs推進事業実行委員会、自治総合センター

【お問い合わせ】和歌山市企画課

E-mail:kikaku@city.wakayama.lg.jp TEL:073-435-1015

